

(資料1)

四国森林管理局管内の木材価格等の推移 (最近の動向)

令和5年9月25日
四国森林管理局

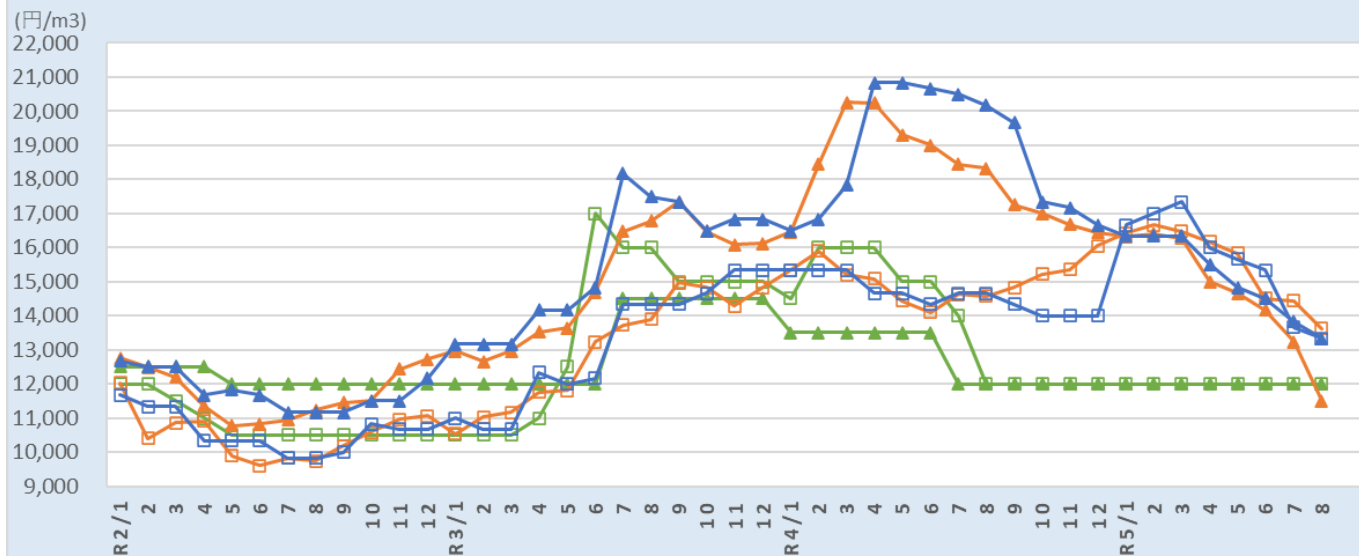
目次

I	管内における原木市場・共販所の状況	
1	丸太価格の推移	1
2	丸太取扱量の推移	5
II	管内における製材等の状況	
1	製材用素材の入荷量及び在庫量の推移	7
2	製材品の出荷量及び在庫量の推移	8
3	製材品価格の推移	9
III	全国の丸太価格の動向	10
IV	住宅着工戸数	
1	四国における木造住宅着工戸数の推移	12
2	全国の住宅着工戸数の推移	13

I 管内における原木市場・共販所の状況

1-(1) 丸太価格の推移 (スギ、径14cm~16cm 長3m材・4m材)

- 令和4年は、愛媛県、高知県では年明けから4月にかけて3m材の引き合いが良くなり価格が高騰、その後は軟調相場に移行したものの高い水準が続いた。秋口からは4m材にも引き合いがみられるようになり令和5年3月までは高い水準が続いたが、4月以降は3m材4m材ともに再び軟化し、直近でも価格の下落傾向が続く。
- 徳島県は、令和4年7月以降軟調相場で推移し、価格は令和2年の水準まで下落、以後は低い水準が続く。
- 令和5年8月のスギ丸太価格は、前年同月比63%から100%で推移。



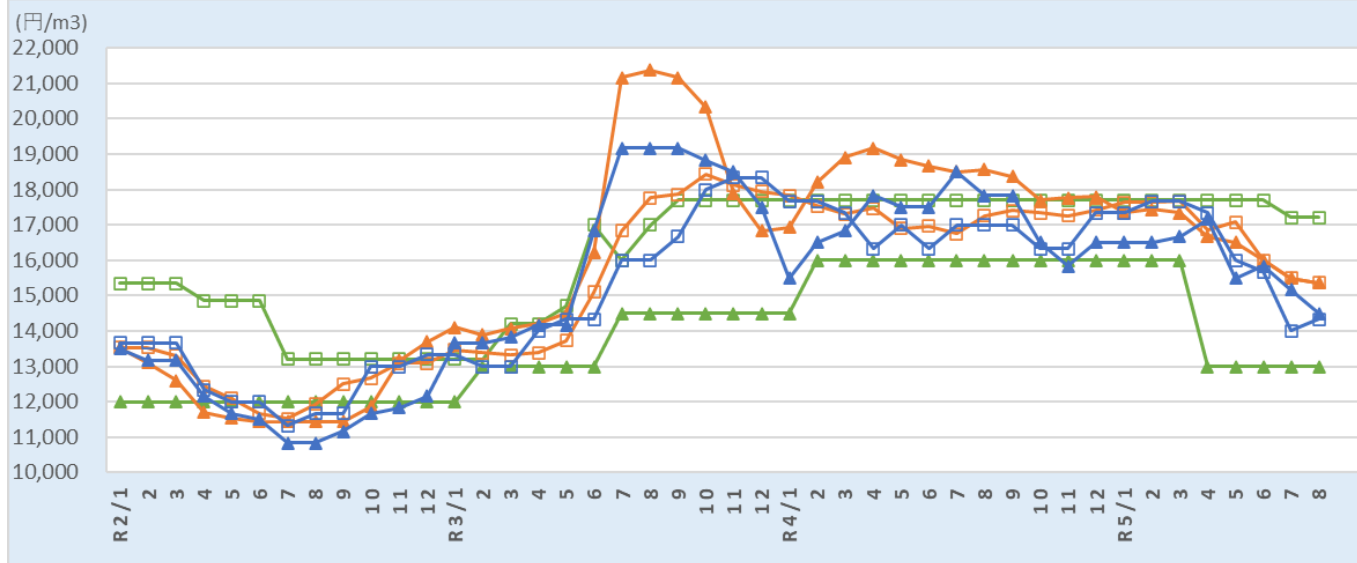
○ 8月のスギ丸太価格 (円/m³)

県	長級	当月	前年同月	前年同月比
徳島県	▲ 3m材	12,000	12,000	100%
	■ 4m材	12,000	12,000	100%
愛媛県	▲ 3m材	11,500	18,317	63%
	■ 4m材	13,630	14,567	94%
高知県	▲ 3m材	13,333	20,167	66%
	■ 4m材	13,333	14,667	91%

注：主要な原木市場、共販所の平均価格
資料：四国森林管理局調べ

1-(2)丸太価格の推移 (スギ、径18cm~22cm 長3m材・4m材)

- 中目材についても、令和4年は3県ともに年間を通して高い水準で安定したが、令和5年4月に入り引き合いが弱まったことから軟化し、直近でも価格の下落傾向が続く。
- 令和5年8月のスギ丸太価格は、前年同月比81%から97%で推移。



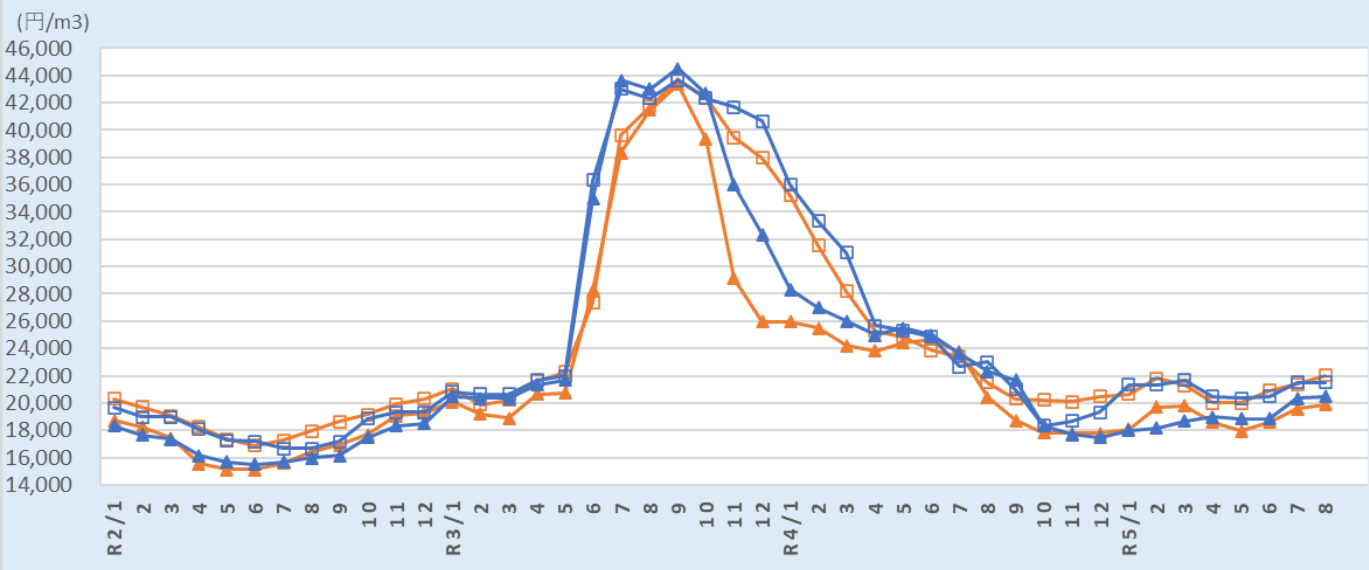
○ 8月のスギ丸太価格 (円/m³)

県	長級	当月	前年同月	前年同月比
徳島県	▲ 3m材	13,000	16,000	81%
	□ 4m材	17,200	17,700	97%
愛媛県	▲ 3m材	15,367	18,567	83%
	□ 4m材	15,367	17,263	89%
高知県	▲ 3m材	14,500	17,833	81%
	□ 4m材	14,333	17,000	84%

注：主要な原木市場、共販所の平均価格
資料：四国森林管理局調べ

1-(3)丸太価格の推移 (ヒノキ、径14cm~16cm 長3m材・4m材)

- 令和4年は、価格の続落が止まらず10月には3m材4m材ともに令和2年同時期の水準まで下落した。
- その後は買方の引き合いがみられるようになり価格の持ち直しがみられたものの、令和5年に入ってもその変動は小さく、価格が反発するほどの勢いはないため、直近の相場においても低い水準が続く。
- 令和5年8月のヒノキ丸太価格は、前年同月比92%から102%で推移。



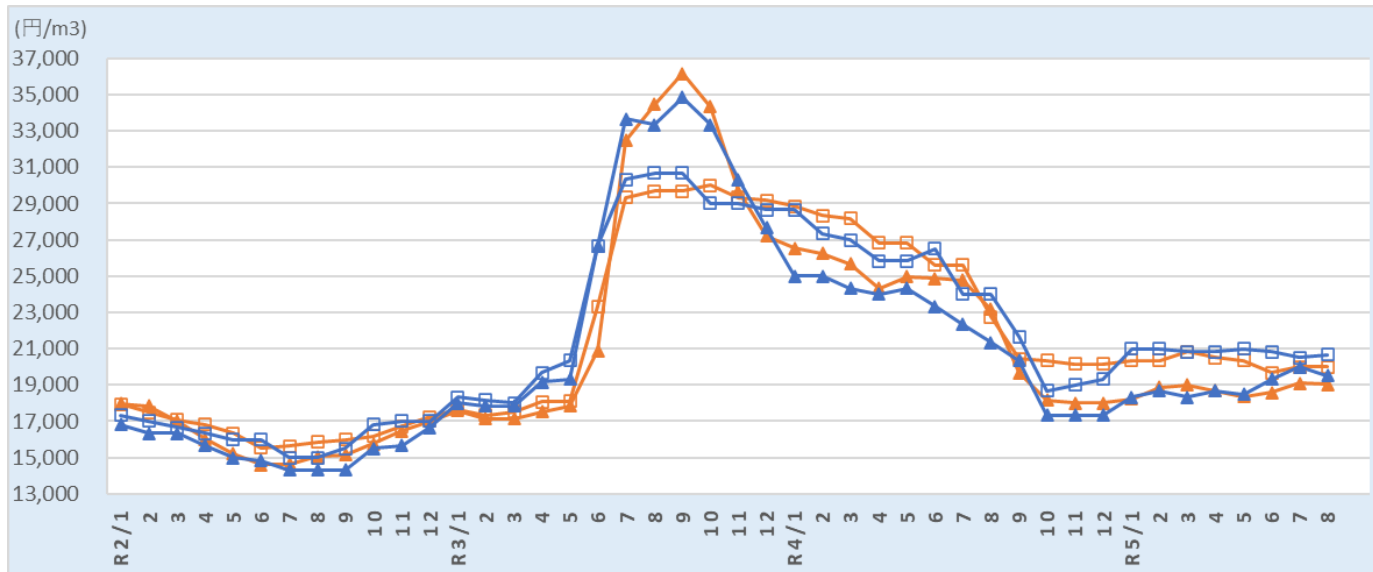
○ 8月のヒノキ丸太価格 (円/m³)

県	長級	当月	前年同月	前年同月比
愛媛県	▲ 3m材	19,892	20,450	97%
	□ 4m材	22,033	21,500	102%
高知県	▲ 3m材	20,500	22,333	92%
	□ 4m材	21,500	23,000	93%

注：主要な原木市場、共販所の平均価格
資料：四国森林管理局調べ

1-(4)丸太価格の推移 (ヒノキ、径18cm~22cm 長3 m材・4 m材)

- 中目材についても、令和4年は価格の続落が止まらず7月頃からは一段と下げ幅が拡大した。10月に入り下げ止まりがみられ4 m材を中心に価格の落ち着きがみられたが価格は低い水準となった。
- 令和5年1月には、一時、価格の持ち直しがみられたものの反発力は弱く、直近においても低い水準のまま概ね横這いが続く。
- 令和5年8月のヒノキ丸太価格は、前年同月比82%から91%で推移。



○ 8月のヒノキ丸太価格 (円/m³)

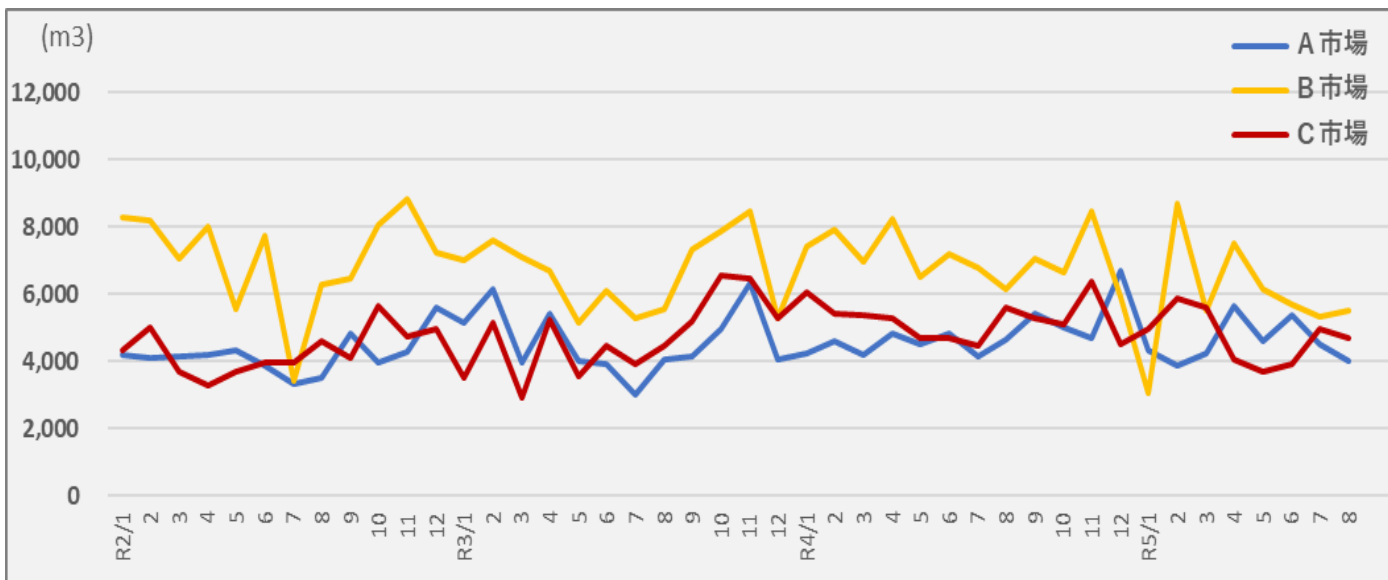
県	長級	当月	前年同月	前年同月比
愛媛県	▲ 3 m材	19,040	23,167	82%
	□ 4 m材	20,000	22,767	88%
高知県	▲ 3 m材	19,500	21,333	91%
	□ 4 m材	20,667	24,000	86%

注：主要な原木市場、共販所の平均価格
資料：四国森林管理局調べ

管内における原木市場・共販所の状況

2-(1) 丸太取扱量の推移（愛媛県）

- 入荷量は、天候の関係もあり県全域で減少傾向。価格面で有利なヒノキの出材を優先してかヒノキの入荷は横ばいから増加傾向にあるが、特にスギの入荷が少ない。
- 前年同月と比べて84%～89%で推移。



資料：四国森林管理局調べ

市場関係者のコメント

【買方の動向】

・製品の荷動きはヒノキが好調なため、スギよりもヒノキの引き合いが強い。

【価格】

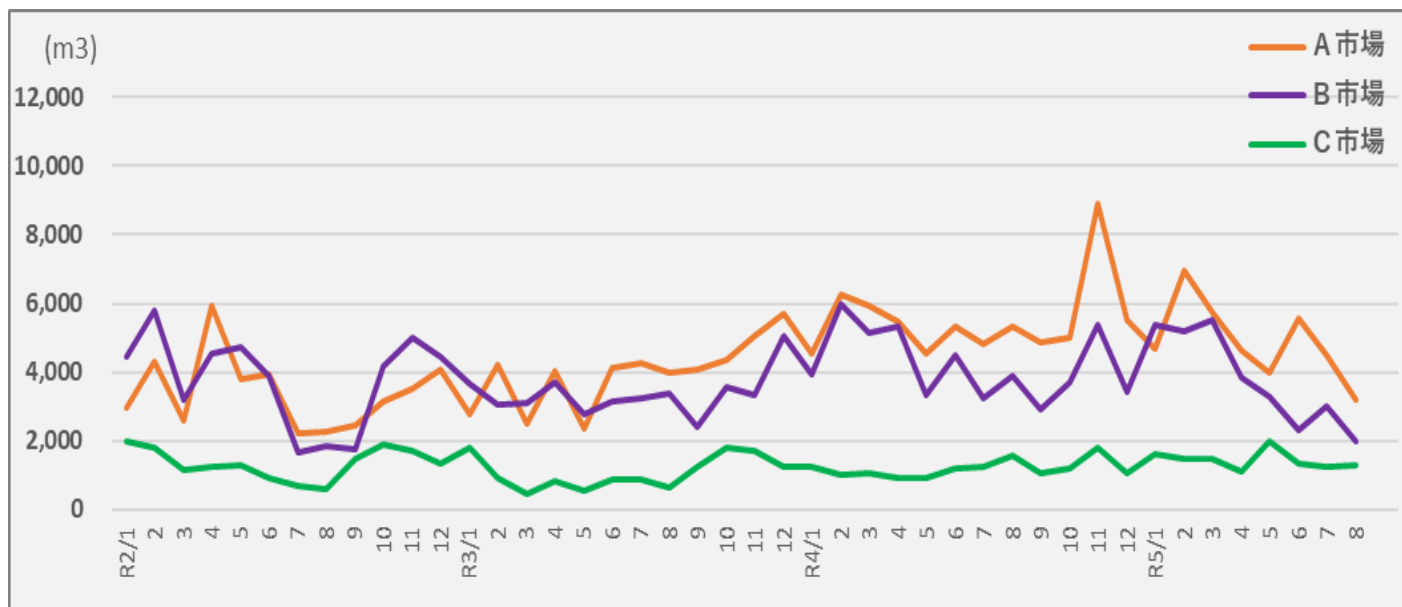
・スギは全般的に値下がり傾向。特に大径木の販売に苦戦。
・ヒノキ3m柱口4m土台及び小丸太は強保合。

【材の引き取り】

・ヒノキは引き合いがあり良好。スギは製品荷動きの低調を反映し鈍化。小径木はスギ・ヒノキ共に良好。

2-(2) 丸太取扱量の推移（高知県）

- 入荷量は、台風や天候の崩れ等降雨が多く県全域で減少傾向。
- 前年同月と比べて52%～82%で大幅に減少。



資料：四国森林管理局調べ

市場関係者のコメント

【買方の動向】

・ヒノキは品薄感から一定の引き合いが見られるが、スギの引き合いは殆どない。

【価格】

・スギは全般的に値下がり傾向。
・ヒノキは一定の需要はあるものの価格への反応は弱い。

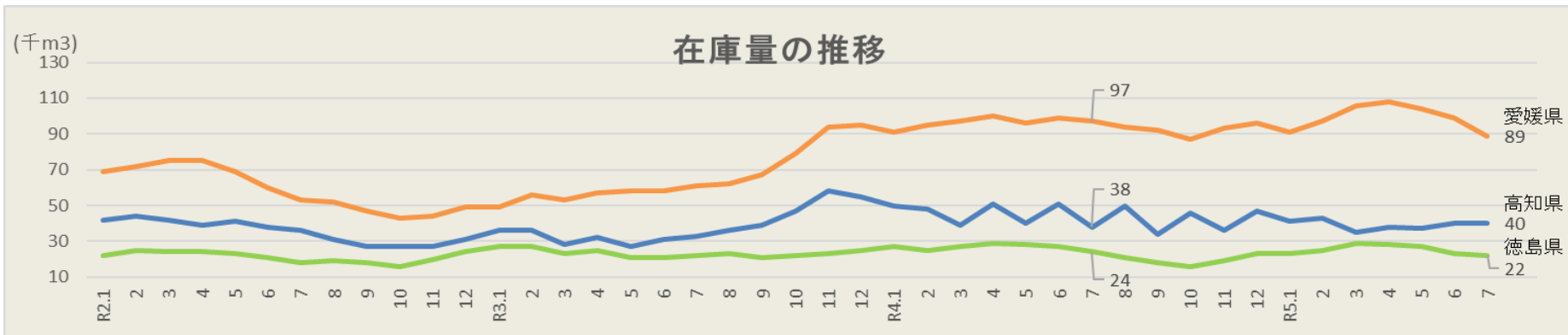
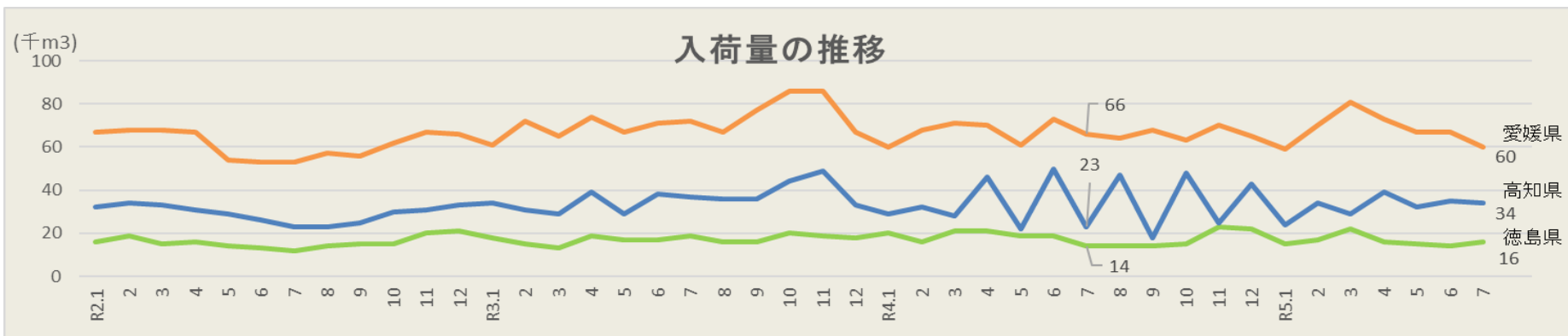
【材の引き取り】

・順調。

II 管内における製材等の状況

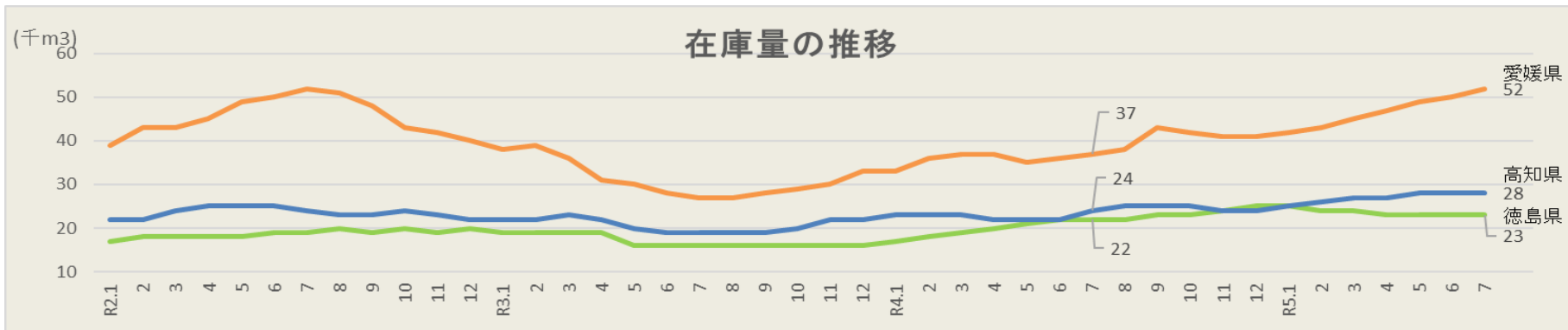
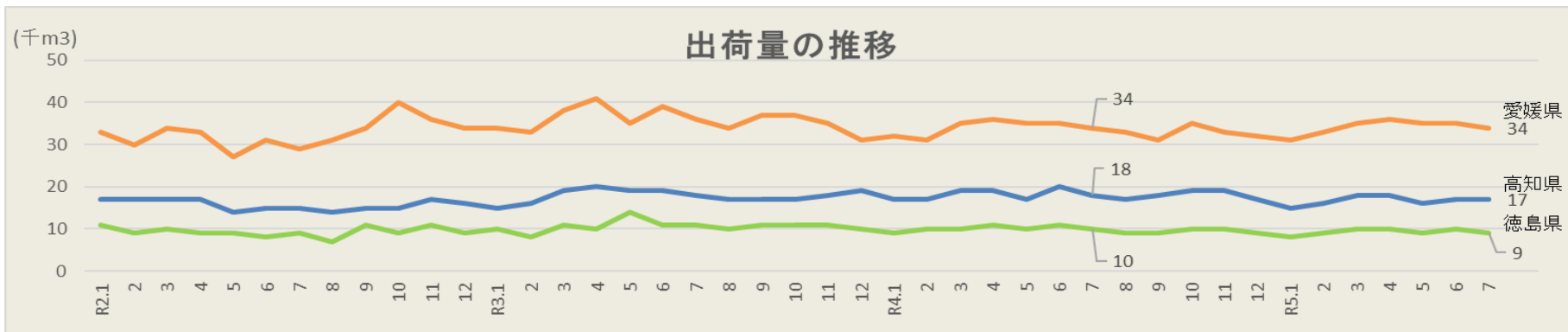
1. 製材用素材の入荷量及び在庫量の推移（令和2年～令和5年）

- 製材用素材の入荷量は、愛媛県で減少傾向がみられるが、徳島県・高知県では概ね横ばいで推移。
- 在庫量は、令和5年に入り徳島県・愛媛県で増加傾向がみられたが、5月以降は減少傾向。
- ただし、愛媛県は令和3年11月以降高い水準が続く。



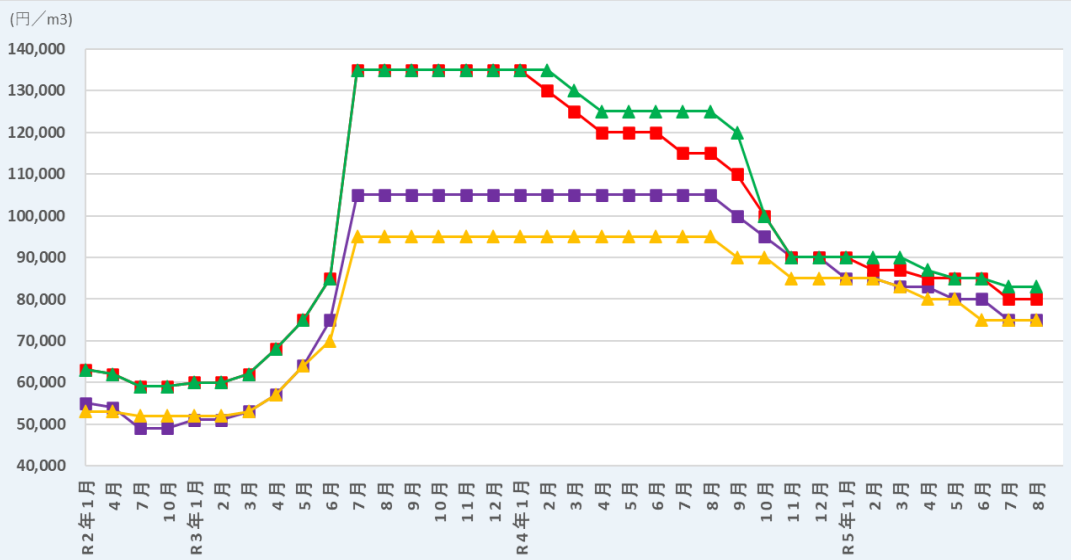
2. 製材品の出荷量及び在庫量の推移（令和2年～令和5年）

- 製材品の出荷量は、各県ともに令和5年2月以降は増加傾向がみられたが、4月をピークに僅かながら減少。
- 直近では、各県ともに概ね昨年同時期と同水準。
- 在庫量は、ウッドショック以後、増加傾向が継続しており、直近では令和2年同時期の水準を上回る状況。



3. 製材品価格の推移

- ウッドショックによる国産材需要の高まりも令和4年に入り、ヒノキ製品は春先から、スギ製品は9月頃から価格が落ちはじめ、10月頃にはスギとヒノキの価格差も殆どなくなった。
- その後も製品市場での買い方の動向は総じて様子見が多く価格は低迷。
- 直近の状況をもみても、ヒノキ土台取りにややタイト感があるものの、スギは全般的に荷動きが悪く、相場はじり安傾向が続く。



国産材製品の相場（愛媛県）令和5年8月 (円/m³)

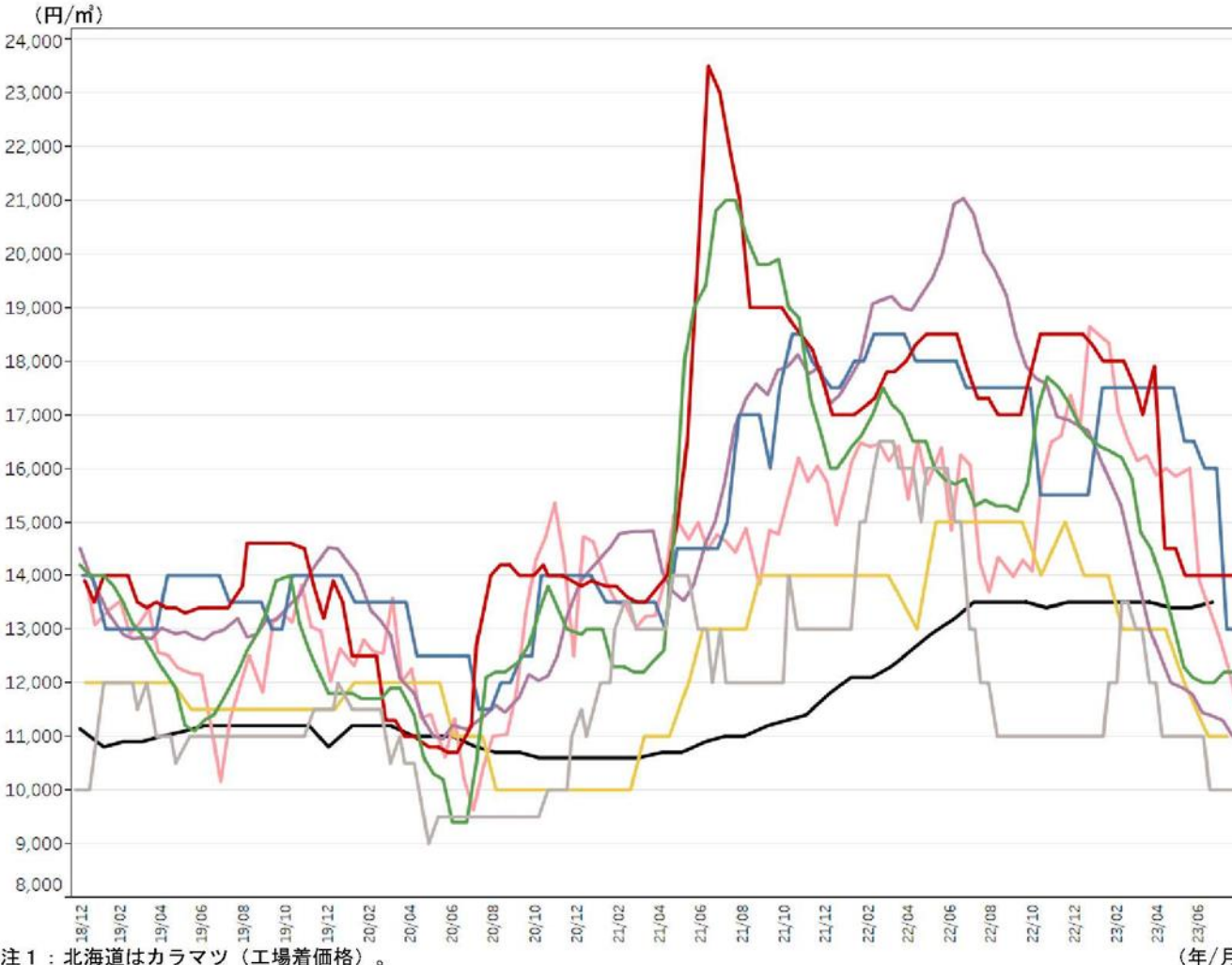
	品目	当月	前年同月	前年同月比
スギ	■ 柱 3 m × 105 mm 角 KD 特等	75,000	105,000	71%
スギ	▲ 間柱 3 m × 105 × 30 mm 角 KD 特等	75,000	95,000	79%
ヒノキ	■ 柱 3 m × 105 mm 角 KD 特等	80,000	115,000	70%
ヒノキ	▲ 土台 4 m × 105 mm 角 KD 特等	83,000	125,000	66%

資料：日刊木材新聞

Ⅲ 全国の丸太価格の動向

ア スギ(全国) 径24cm程度、長3.65~4.0m (2018年12月~)

- 全国の原木市場・共販所において、直近のスギ原木価格は、10,000円~14,000円/m³となっている。



(単位：円/m³)

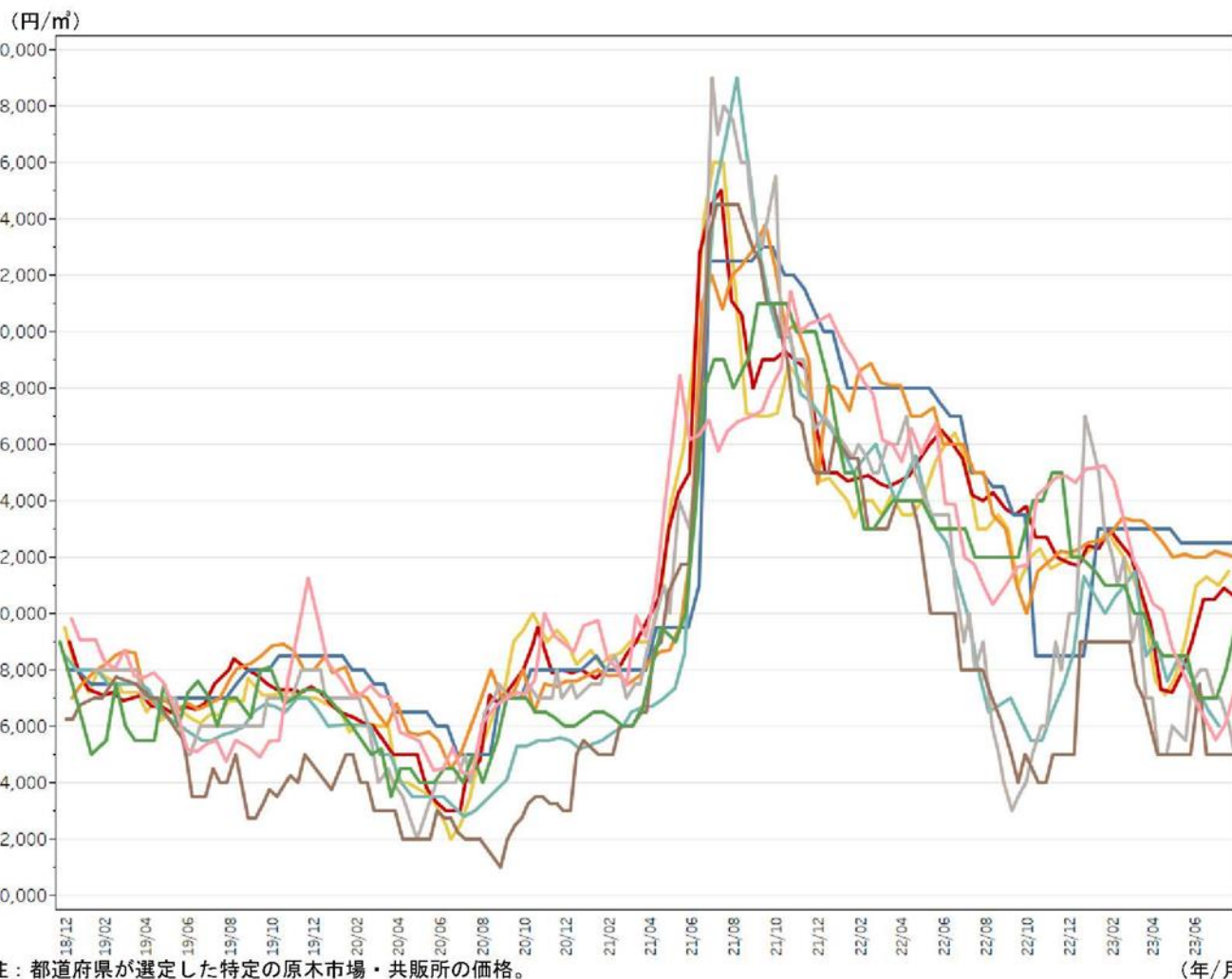
都道府県	2023年直近※	前年同期	前年同期比
■ 北海道	13,500	13,200	102%
■ 秋田県	11,000	20,030	55%
■ 栃木県	11,600	13,690	85%
■ 長野県	11,000	15,000	73%
■ 岡山県	10,000	12,000	83%
■ 高知県	13,000	17,500	74%
■ 熊本県	14,000	17,300	81%
■ 宮崎県	12,200	15,400	79%

※北海道については6月、秋田県、栃木県、長野県、岡山県、高知県、熊本県及び宮崎県については7月の値を使用。

注1：北海道はカラマツ（工場着価格）。
注2：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。

イ ヒノキ(全国) 径24cm程度、長3.65~4.0m (2018年12月~)

- 全国の原木市場・共販所において、直近のヒノキ原木価格は、15,000円~22,500円/m³となっている。



(単位：円/m³)

都道府県	2023年直近※	前年同期	前年同期比
栃木県	17,260	20,960	82%
静岡県	19,500	22,000	89%
兵庫県	15,000	18,000	83%
岡山県	15,000	19,000	79%
広島県	16,000	20,000	80%
愛媛県	22,000	25,000	88%
高知県	22,500	25,000	90%
熊本県	20,600	24,000	86%
大分県	21,500	23,000	93%

※各県7月の値を使用。

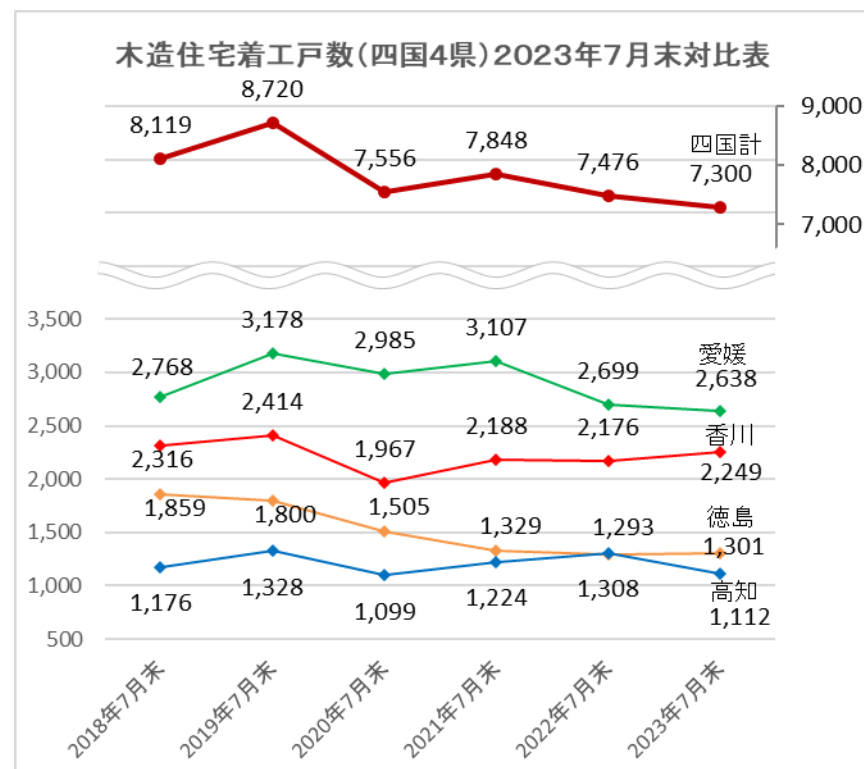
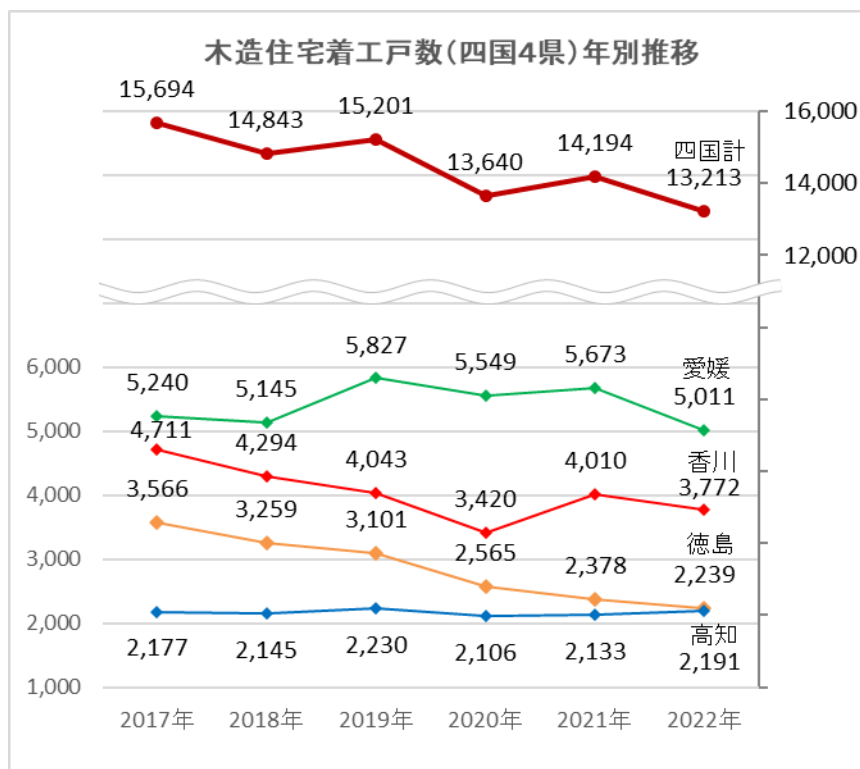
注：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。

資料：林野庁木材産業課調べ

IV 住宅着工戸数

1 四国における木造住宅着工戸数の推移

- 四国における2022年の木造住宅着工戸数は 13,213戸（前年比93.1%）となり、2020年を更に下回って過去10年間で最も低い水準となった。
- 2023年7月末の木造住宅着工戸数は7,300戸（前年同期比97.6%）、県別では、徳島県 1,301戸（同100.6%）、香川県 2,249戸（同103.4%）、愛媛県 2,638戸（同97.7%）、高知県 1,112戸（同85.0%）となり、愛媛県と高知県は前年同期を下回った。

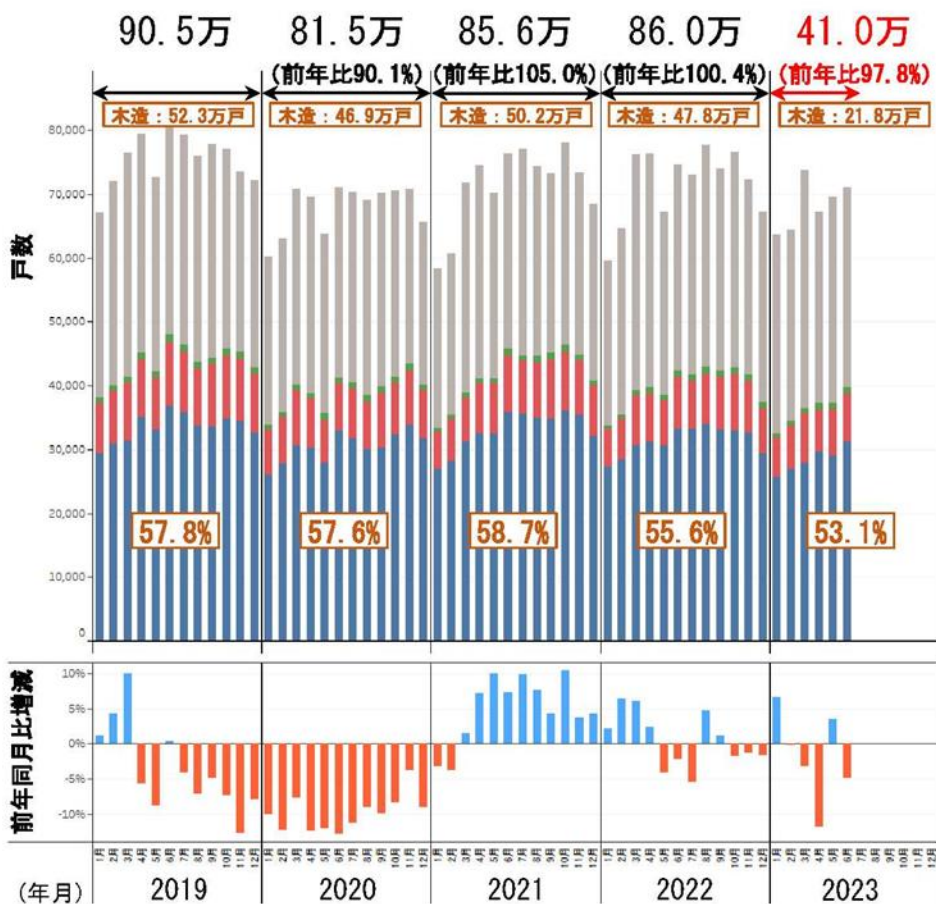


資料：国土交通省「住宅着工統計」

2 全国の住宅着工戸数の推移 (2019年1月～2023年6月)

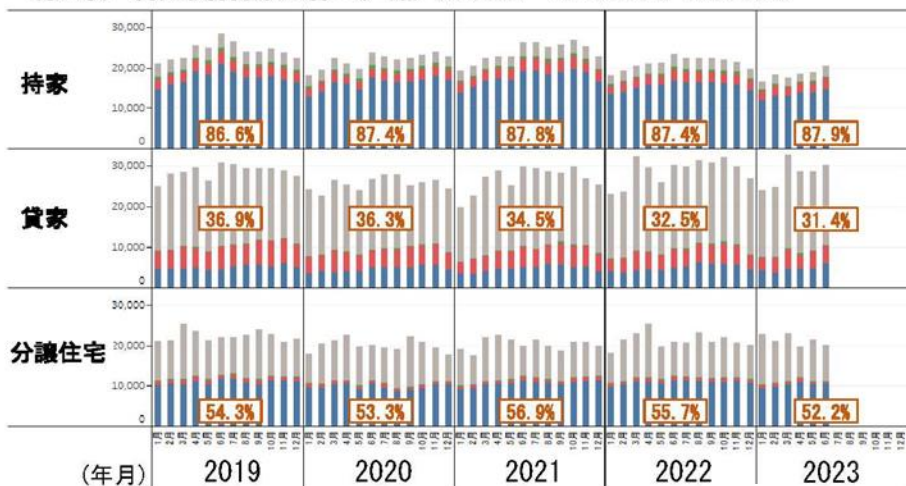
- 2022年の新設住宅着工戸数は、**86.0万戸**（前年比100.4%）、このうち木造住宅は**47.8万戸**（同95.1%）となり、2021年の水準を下回った。
- 2023年1～6月の新設住宅着工戸数は、**41.0万戸**（前年同期比97.8%）、このうち木造住宅は**21.8万戸**（同95.1%）。

新設住宅着工戸数の推移



構造別の着工戸数	2023年 1～6月	前年 同期	前年 同期比	前々年 同期	前々年 同期比
合計	409,549	418,559	97.8%	412,010	99.4%
■非木造	191,911	189,715	101.2%	176,192	108.9%
木造	217,638	228,844	95.1%	235,818	92.3%
■木造プレハブ	5,026	4,514	111.3%	4,751	105.8%
■2×4	42,103	42,960	98.0%	44,122	95.4%
■在来軸組	170,509	181,370	94.0%	186,945	91.2%
□木造率	53.1%	54.7%		57.2%	

(参考) 利用関係別の着工戸数 (ただし、「給与住宅」を除く。)



「定常範囲を逸脱する動き」について

(資料2)

分析結果

(ア) 木材価格の前月比における逸脱の有無

(調査月 令和5年4月～令和5年7月)

【スギ中丸太】 ・ 定常範囲を逸脱した動きはなし。

【ヒノキ中丸太】 ・ 定常範囲を逸脱した動きはなし。

(イ) 木材価格の前月比における下落(上昇)の継続(5ヶ月以上)

(調査月 令和5年4月～令和5年7月)

【スギ中丸太】 ・ 5ヶ月以上連続した動き(上昇または下落)はなし。

【ヒノキ中丸太】 ・ 7月時点で8ヶ月連続の上昇。

(ウ) 木材価格の前年度同月比における逸脱の有無

(調査月 令和5年4月～令和5年7月)

【スギ中丸太】 ・ 5月に下限値を下回ったが、以後は定常範囲を逸脱した動きはなし。

【ヒノキ中丸太】 ・ 定常範囲を逸脱した動きはなし。

(エ) 木材価格の2ヶ年平均価格比における逸脱の有無

(調査月 令和5年4月～令和5年7月)

【スギ中丸太】 ・ 定常範囲を逸脱した動きはなし。

【ヒノキ中丸太】 ・ 定常範囲を逸脱した動きはなし。

(オ) 製材用素材の在庫率における逸脱の有無

(調査月 令和5年4月～令和5年7月)

【徳島県・愛媛県】 ・ 定常範囲を逸脱した動きはなし。

【愛媛県・高知県】 ・ 定常範囲を逸脱した動きはなし。

四国森林管理局国有林材供給調整検討委員会運営要領(平成25年7月30日付け25四資第19号)の2の(ア)から(オ)に係る確認

〔判断基準・指標〕

○ 過去10年間の月別データを基に、平均と標準偏差から95%の信頼区間を算出し、その区間を逸脱するか否かを確認

○ 使用データは、農林水産省の「木材価格」・「製材統計」を使用

○ 丸太価格、在庫率の変動

1 スギ中丸太価格（徳島県・愛媛県）

	逸脱上限値 5.84%				逸脱下限値 -5.85%				逸脱上限値 21.90%				逸脱下限値 -21.35%				逸脱上限値 17.48%				逸脱下限値 -17.35%											
	前月比 (%)								連続上昇・連続下落 (月)								前年同月比 (%)								2ヶ年平均価格比 (%)							
	4月	5月	6月	7月	4月	5月	6月	7月	4月	5月	6月	7月	4月	5月	6月	7月	4月	5月	6月	7月	4月	5月	6月	7月								
スギ中丸太 (径級14~22cm) (長級3.65~4.00m)	-2.22%	-0.97%	2.02%	0.30%	-1	-2	1	2	-20.37%	-21.91%	-21.16%	-16.51%	-13.31%	-15.14%	-14.88%	-14.63%																

注1) 数値の赤字は定常範囲を逸脱しているものである。

注2) 木材価格データは農林水産省の「木材価格統計」を使用し、算出したものである。

2 ヒノキ中丸太価格（愛媛県・高知県）

	逸脱上限値 9.14%				逸脱下限値 -9.38%				逸脱上限値 39.98%				逸脱下限値 -41.96%				逸脱上限値 30.02%				逸脱下限値 -33.70%											
	前月比 (%)								連続上昇・連続下落 (月)								前年同月比 (%)								2ヶ年平均価格比 (%)							
	4月	5月	6月	7月	4月	5月	6月	7月	4月	5月	6月	7月	4月	5月	6月	7月	4月	5月	6月	7月	4月	5月	6月	7月								
ヒノキ中丸太 (径級14~22cm) (長級3.65~4.00m)	2.62%	2.11%	1.03%	2.49%	5	6	7	8	-25.77%	-26.67%	-25.54%	-22.75%	-26.40%	-26.17%	-26.28%	-23.57%																

注1) 数値の赤字は定常範囲を逸脱しているものである。

注2) 木材価格データは農林水産省の「木材価格統計」を使用し、算出したものである。

3 製材用素材の在庫量

	素材の在庫率			
	4月	5月	6月	7月
製材用素材(徳島・愛媛)	1.63	1.56	1.43	1.28
製材用素材(愛媛・高知)	1.46	1.40	1.36	1.24

逸脱上限値	逸脱下限値
1.88	0.81
1.58	0.89

注1) 数値の赤字は定常範囲を逸脱しているものである。

注2) 在庫率のデータは農林水産省の「製材統計」を使用し、算出したものである。